



株式会社 ジェイ・エム・エス

<http://www.jms.cc/>

証券コード 7702

2014年(平成26年) 3月期 第1四半期

2013年(平成25年) 4月1日 ~ 2013年(平成25年) 6月30日

連結決算の概要

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績ハイライト

第1四半期 2013年(平成25年) 6月期 — 増収減益 —

(%表示は、対前期増減率)

売上高 12,490百万円 (5.5%増)

売上高	【国内】 -輸液輸血関連製品・医療用手袋の販売が堅調に推移
	【海外】 -成分献血用回路の販売が好調に推移 -A V F 針（血液透析用針）の販売が伸長 -誤穿刺防止機構付翼状針の販売が増加

営業利益 18百万円 (94.2%減)、経常利益 130百万円 (69.7%減)、四半期純利益 6百万円 (97.7%減)

利益	-東南アジアでの労務費の上昇 -国内で手数料等の販売費が一時的に増加
----	---------------------------------------

連結経営成績



増収減益

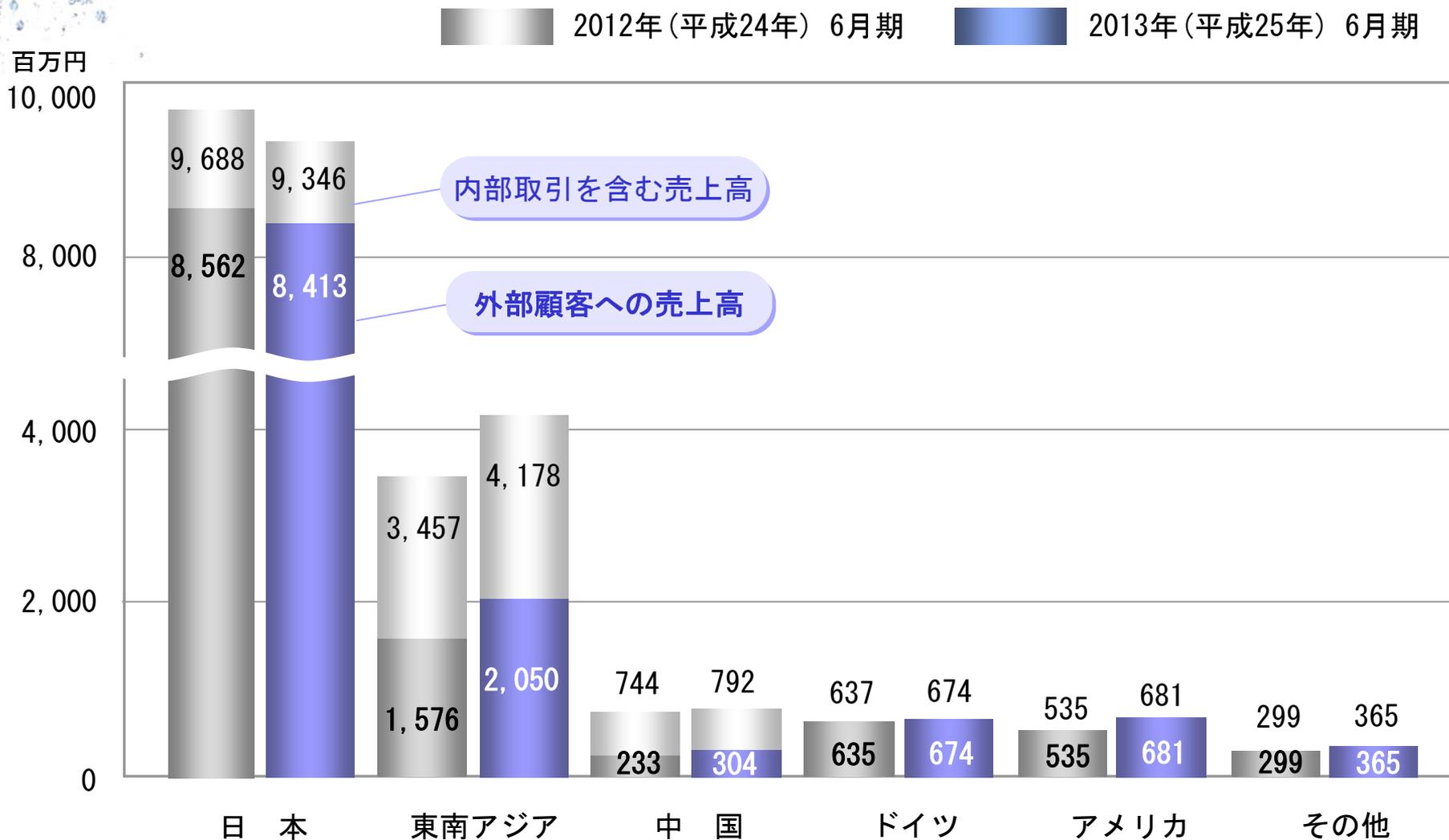
百万円

	2012年(平成24年) 6月期 実績	2013年(平成25年) 6月期 実績	対前期 増減率
売上高	11,843	12,490	5.5%
営業利益	312	18	△94.2%
経常利益	430	130	△69.7%
四半期純利益	284	6	△97.7%
一株当たり 四半期純利益	6.59円	0.14円	---

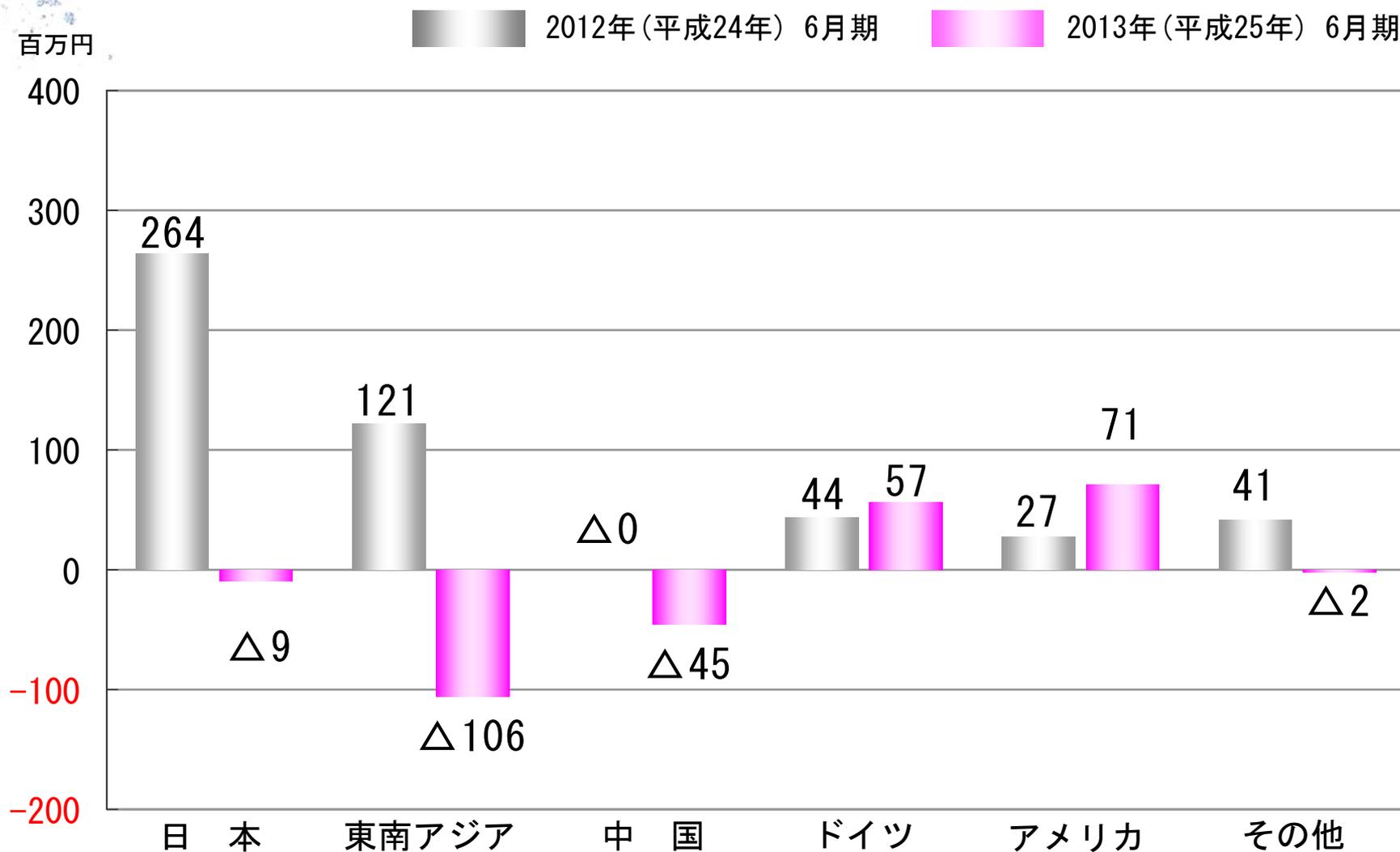
為替換算レート(期中平均)

US\$	80.20円	98.76円	---
ユーロ	103.99円	122.04円	---
シンガポールドル	63.44円	79.06円	---

セグメント業績・売上高



セグメント業績・利益



セグメント業績



対前期増減率



日本

売上高	9,346 百万円	△3.5%
セグメント利益	△9 百万円	—

輸液輸血関連製品や医療用手袋の販売が堅調に推移したものの、血液透析装置及びその付属機器の販売が鈍化。



東南アジア

売上高	4,178 百万円	20.9%
セグメント利益	△106 百万円	—

日本向けの人工腎臓用血液回路の販売が減少したものの、米国向け成分献血用回路の販売が引き続き好調に推移。



中国

売上高	792 百万円	6.5%
セグメント利益	△45 百万円	—

日本向けの輸液セットの販売は減少したものの、欧米向け及び中国国内向けAVF針の販売が引き続き伸長。



ニードルレスアクセスポート「プラネクタ」付輸液セット

輸液セットは人間の体液に必要な水分や電解質を投与するために使用する医療機器です。「プラネクタ」は輸液セット等に対し金属針を使用せず接続が可能なニードルレスアクセスポートで、患者さんにとっては薬液や血液の汚染要因を減少させ、医療従事者の方々にとっては針刺し事故を防止するため、双方への感染リスクを大幅に低減します。



医療用手袋（手術用、検査・検診用）

手術や検査などを行う際に使用される手袋です。天然ゴム製のほか、ラテックスアレルギーを持つ方々のために合成ゴム製も取り揃えています。

セグメント業績



対前期増減率



ドイツ

売上高	674 百万円	5.9%
セグメント利益	57 百万円	30.4%

EU圏における透析用チェアーの販売が堅調に推移。



アメリカ

売上高	681 百万円	27.4%
セグメント利益	71 百万円	162.0%

北米向けの誤穿刺防止機構付翼状針の販売が引き続き増加。



その他

売上高	365 百万円	21.9%
セグメント利益	△2 百万円	—



AVF針（血液透析用針）

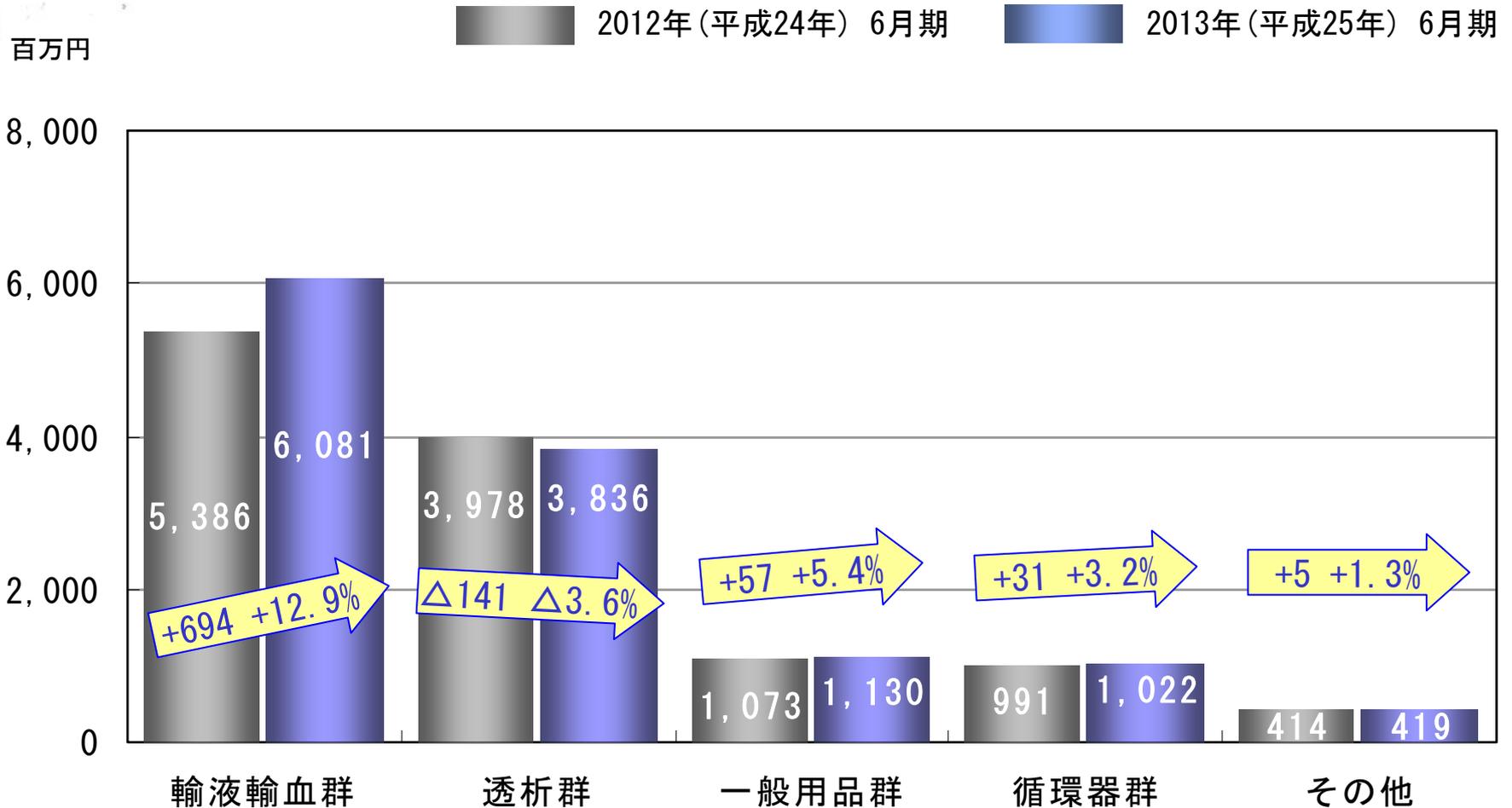
血液透析を行う際に、シャント（動脈と静脈を接合した部位）から血液を体外へ取り出すための針です。



誤穿刺防止機構付翼状針

静脈注射や採血、点滴に使用するチューブがついた注射針で、固定しやすい形状になっています。使用后、チューブを引くと針先が本体に収納され、針刺し事故を防止します。

システム別売上高

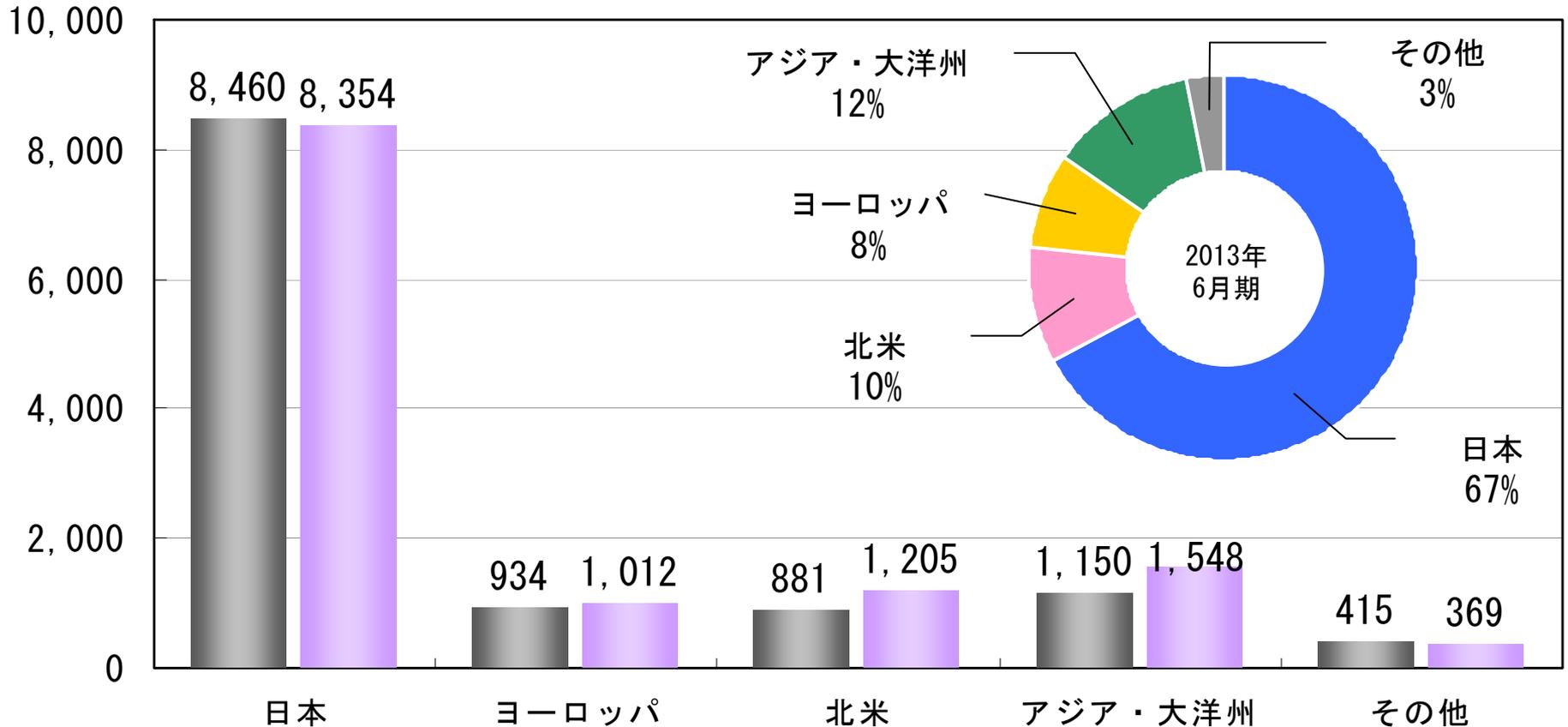


地域別売上高

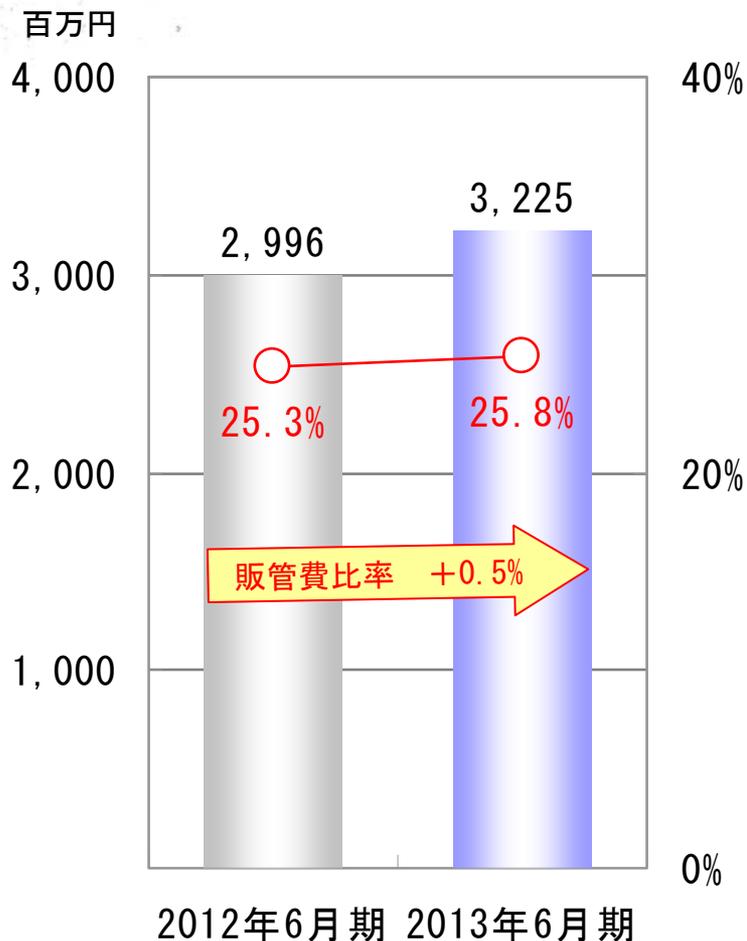
2012年(平成24年) 6月期
 2013年(平成25年) 6月期

百万円

(顧客所在地別)



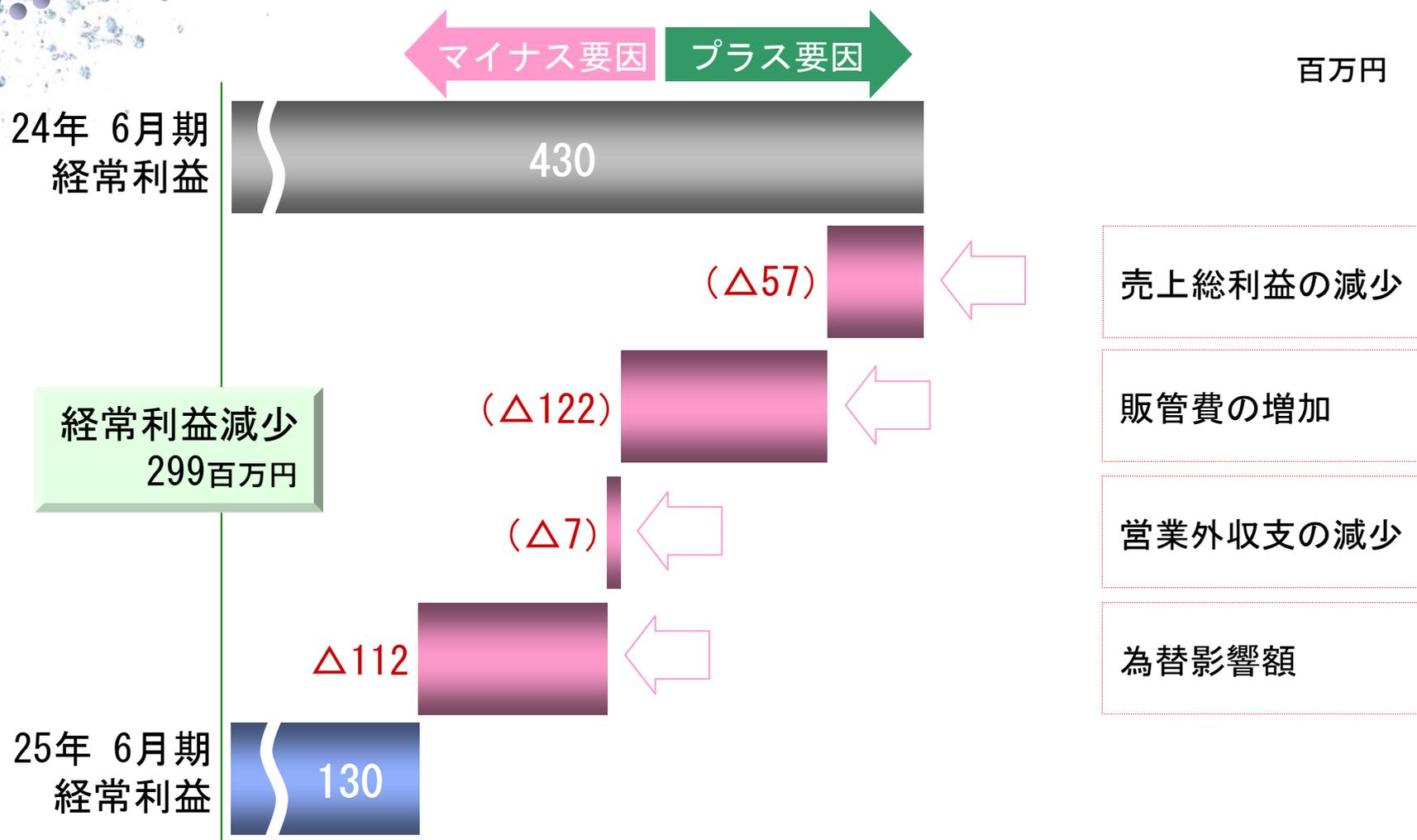
販売費及び一般管理費



百万円

	2012年 (平成24年) 6月期	2013年 (平成25年) 6月期	増 減	対前期 増減率
人 件 費	1,338	1,408	69	5.2%
運 送 費	343	393	49	14.5%
研究開発費	317	292	△25	△8.1%
減価償却費	82	95	12	15.5%
そ の 他	914	1,036	122	13.4%
計	2,996	3,225	229	7.7%

経常利益：前期実績との比較



()内は為替影響を除く

平成26年3月期 通期連結業績予想



百万円

	2013年(平成25年) 3月期 実績	2014年(平成26年) 3月期 通期予想	対前期 増減率
売上高	49,068	51,500	5.0%
営業利益	1,594	2,100	31.7%
経常利益	1,879	2,300	22.4%
当期純利益	1,277	1,400	9.6%
一株当たり 当期純利益	29.41円	28.70円	---

為替換算レート(期中平均)

US\$	83.10円	95.00円	---
ユーロ	102.63円	120.00円	---
シンガポールドル	66.88円	75.00円	---

※日付:プレスリリース開示日

- 医療用弾性ストッキング 「レッグサイエンス舞」 販売開始

2013年(平成25年) 6月27日



医療用弾性ストッキング
「レッグサイエンス舞」



- パイオニア株式会社と医療用レーザー血流計の開発委託契約を締結

2013年(平成25年) 3月21日

- 公募及び第三者割当による新株式発行並びに株式売出しに関するお知らせ

2013年(平成25年) 2月21日

- 交換用胃ろうカテーテル キット 『ジェイフィード ペグロック』 販売開始

2013年(平成25年) 2月15日

交換用胃ろうカテーテル キット
「ジェイフィード ペグロック」



ジェイ・エム・エスは、「患者様第一主義」を企業理念に掲げ、医療に貢献する企業として活動を続けています。

ジェイ・エム・エスは、これからも
[お客さまに感動を与える製品とサービスの提供]を基本方針に、
医療従事者の方々、患者様・ご家族、一人ひとりに、笑顔と元気
を与え、より多くの幸せを創り出すことに、グループ一丸となっ
て専念して参ります。

今後とも格別のご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。